

事務事業コード	725410	事務事業名	ごみ処理場管理運営事業	担当部	生活環境部
政策名	2	自然にやさしいまちづくり		担当課	衛生施設課
施策名	3	循環型社会の形成		グループ	施設管理G
基本事業名	4	廃棄物処理施設の整備・管理		電話番号	45-5111
				内線番号	1083
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	4	衛生費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 15 年度~)
	項	3	清掃費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	2	塵芥処理費		霧島市敷根清掃センターの設置及び管理に関する条例、廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	コード	725410			
関連計画	霧島市環境基本計画、霧島市一般廃棄物処理基本計画				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績				
市民から出される燃えるごみ、燃えないごみ、粗大ごみを処理、処分するためにごみ処理場(敷根清掃センター)の維持管理業務、運転業務を行う。 維持管理業務・・・機器類の定期的なメンテナンス、機器類の修繕、排ガス、ダイオキシン等の環境測定 運転業務・・・各設備の監視・制御業務、計量事務、有価物(プレス品)、飛灰固化物の運搬 休場日：日曜日、1月1日から1月3日、12月30日、12月31日 搬入時間：平日及び祝日は8時30分から正午まで及び午後1時から午後4時まで、土曜日は午前8時30分から正午まで ごみ処理手数料：10kgにつき80円(市民自ら清掃センターに搬入する場合は30kg以下は徴収しない。)			事務事業の概要と同様				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	ごみの搬入量	t	36,236	36,837	36,500	36,500	
イ	飛灰固化物の搬出量	t	1,813	1,680	1,850	1,850	
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	家庭系ごみ、事業系ごみ(ただし、牧園・横川地区を除く)	ごみの搬入量	t	36,236	36,837	36,500	36,500
イ	市民、事業者(ただし、牧園・横川地区を除く)	処理人口	人	114,821	115,160	114,500	114,500
ウ	敷根清掃センター(施設、設備、機器等)	ごみ処理系統数	系統	2	2	2	2
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	ごみが適正に処理される。	ごみの処理量	t	36,236	36,837	36,500	36,500
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	市域内で処理できる体制が整う。	市域外で処分される一般廃棄物の割合 *リサイクルされる一般廃棄物を除く	%	1.9	調査中	***	***
イ	適切に維持・管理される。	1t当たりの一般廃棄物処理コスト (建設改良費を除く)	千円/t	18.7	調査中	***	***

(2) 事業費 単位:千円

	24年度(決算)	25年度(予算)
予算額	当初予算額	994,442
	補正及び流用	50,182
	予算合計	1,044,624
決算額	国庫補助金	1,680
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	134,489
	一般財源	822,828
支出合計	958,997	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
平成15年4月の敷根清掃センター稼働に伴い管理運営事業が開始された。	合併に伴い溝辺地区のごみ処理量の分が増大した。維持管理に関しては、年に2回1戸を止めてメンテナンスを行っていたが、同時に2戸稼働しないと処理できないことが多くなったため、メンテナンスにかかる時間が短くなっている。また保証期間終了に伴い事業費が増加した。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
議員等からメンテナンス費用が高いのではないかと意見がある。	特になし

事務事業コード	725410	事務事業名	ごみ処理場管理運営事業	担当部	生活環境部
				担当課	衛生施設課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金	4,506		4,506	9,437		9,437	9,437		9,437
8 報償費									
9 旅費	264		264	124		124	124		124
10 交際費									
11 需用費	641,532		641,532	690,110		690,110	690,110		690,110
消耗品費	63,527		63,527	85,500		85,500	85,500		85,500
燃料費	63,904		63,904	59,000		59,000	59,000		59,000
食料費	6		6	10		10	10		10
印刷製本費									
光熱水費	87,874		87,874	96,800		96,800	96,800		96,800
修繕料	426,221		426,221	448,800		448,800	448,800		448,800
12 役務費	2,617		2,617	1,864		1,864	1,864		1,864
通信運搬費	231		231	230		230	230		230
広告料									
手数料	892		892	32		32	32		32
保険料	1,494		1,494	1,602		1,602	1,602		1,602
13 委託料	257,411	5,040	262,451	264,458	4,500	268,958	264,458		264,458
14 使用料及び賃借料	4,176		4,176	4,166		4,166	4,166		4,166
15 工事請負費	42,063		42,063	57,000		57,000	57,000		57,000
16 原材料費	4		4	70		70	70		70
17 公有財産購入費									
18 備品購入費	26		26	7,200		7,200			
19 負担金補助・交付金	189		189	279		279	279		279
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費	1,169		1,169	1,275		1,275	1,275		1,275
28 繰出金									
計	953,957	5,040	958,997	1,035,983	4,500	1,040,483	1,028,783		1,028,783

財源内訳	国		1,680	1,680		1,500	1,500		
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	134,489		134,489	129,191		129,191	129,191	
一般財源	819,468	3,360	822,828	906,792	3,000	909,792	899,592		899,592
計	953,957	5,040	958,997	1,035,983	4,500	1,040,483	1,028,783		1,028,783

補助率	国	1/3		1/3	
	県				
補助基本額					

平成24年度	当初予算	994,442千円		
	補正及び流用	50,182千円		
	第1回		第5回	
	第2回(6月)	50,680	第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		流用	▲498
予算合計		1,044,624千円		

平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳	
ごみ投入手数料101,436千円、建物貸付料996千円、地金・スラグ代32,057千円	
参加費等の事業実施のための収入説明	
*第8回以降の補正予算内訳 第8回(3月)▲39,639千円 *予算合計 1,004,985千円	

事務事業コード	725410	事務事業名	ごみ処理場管理運営事業	担当部	生活環境部
				担当課	衛生施設課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	清掃センターの管理運営をすることにより、ごみの適正処理に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(廃掃法)の第6条の2第1項により、ごみ処理は自区域内での処理が定められているため妥当であり、民間にこのような施設はない。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は、清掃センター、ごみ、市民、事業者(牧園・横川地区を除く)であり、対象は限定すべきである。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	施設の運転管理や設備の定期補修等により、安定した適正なごみ処理ができたが、ごみのリサイクル、減量化が進めばさらに成果の向上が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	事業を廃止・休止することは、適切なごみ処理ができなくなり、生活環境への悪化につながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	ごみのリサイクルが進み、減量化が進めば、燃料費、光熱費、消耗品を削減することは可能であると思われる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現行の当施設への搬入時間を変えない限り業務時間の削減は難しい。リサイクルプラザは特殊な技能を持った現業職員が行っているため、臨時職員、外部委託は難しい。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	区域内のほぼ全世帯(市民)がごみを出していることから、受益機会・費用負担は適正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	契約電力の見直しや省エネに取り組み、受電電力量を削減できた。また、設備のメンテナンス等により薬品代を節約することができた。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容
・生ごみ分別リサイクル事業が順調に進むことにより、ごみ質の改善が図られ、燃料費の削減、発電効率のアップによる光熱費の削減が期待される。 ・二軸破碎機のカッターの再生刃利用を行うことにより、コスト削減が期待される。 ・効率的な設備の更新や保全管理を充実させるため、長寿命化計画に基づき、基幹設備改良事業を行うための準備を行う。将来にわたりライフサイクルコストの低減が期待される。 ・節電等に取り組むことにより、光熱水費の削減が期待される。	・基幹設備改良事業の実施に向けて検討を行う。 ・引き続き、タービン発電機の発電能力向上が図られないか、費用対効果からの検討を行う。

事務事業コード	725510	事務事業名	し尿処理場管理運営事業	担当部	生活環境部
政策名	2	自然にやさしいまちづくり		担当課	衛生施設課
施策名	3	循環型社会の形成		グループ	施設管理グループ
基本事業名	4	廃棄物処理施設の整備・管理		電話番号	45-5111
				内線番号	1083
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	4	衛生費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 11 年度~)
	項	3	清掃費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	3	し尿処理費		廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	コード	725510			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績			
し尿・浄化槽汚泥を適切に処理、処分することにより、公衆衛生の向上及び生活環境の保全を図る。具体的な業務内容は、機器類の定期的なメンテナンス、修繕、水質検査、各設備の運転監視・制御、計量、処理済汚泥搬出作業など。			南部し尿処理場および牧園・横川地区し尿処理場の管理運営を行い、搬入されるし尿および浄化槽汚泥を適切に処理した。			
【施設の処理区域】 ・南部し尿処理場：国分、隼人、福山、霧島地区および溝辺地区の一部 ・牧園・横川地区し尿処理場：牧園、横川地区および溝辺地区の一部 【施設の指定管理者】 ・南部し尿処理場：JFE環境サービス(株) 期間：H25.4.1~H30.3.31 ・牧園・横川地区し尿処理場：(株)三州衛生公社 期間：H24.7.1~H29.3.31			平成25年度計画			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	汚泥等搬入量	kl/年	64,487	65,185	65,185	65,185
イ	環境分析回数(延べ)	回	24	24	24	24
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	し尿・浄化槽汚泥	汚泥等搬入量	kl/年	64,487	65,185	65,185
イ	し尿処理場	施設数	箇所	2	2	2
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	し尿汚泥等の処理、施設の管理運営が適切になされる	環境基準を満たした水質検査の割合	%	100	100	100
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	施設が適切に維持管理される	環境基準遵守率	%	100	100	***
イ						

(2) 事業費 単位：千円

	24年度(決算)	25年度(予算)
当初予算額	237,078	242,335
補正予算	▲ 10,000	
予算合計	227,078	242,335
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	11,500
	一般財源	209,218
支出合計	220,718	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
南部し尿処理場は平成19年4月から、牧園・横川地区し尿処理場は平成11年4月からの稼働に伴いこの事業が開始された。	平成19年2月からの海洋投棄処分が禁止となった。濃縮車の導入が進み、搬入量が減少する反面、濃度が濃くなる傾向にあり、運転管理には注意が必要がある。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
特になし。	特になし。

事務事業コード	725510	事務事業名	し尿処理場管理運営事業	担当部	生活環境部
				担当課	衛生施設課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金	1,104		1,104						
8 報償費									
9 旅費	2		2						
10 交際費									
11 需用費	134,063		134,063	66,400		66,400	66,400		66,400
消耗品費	58,403		58,403						
燃料費	3,124		3,124						
食料費									
印刷製本費									
光熱水費	26,946		26,946						
修繕料	45,590		45,590	66,400		66,400	66,400		66,400
12 役務費	601		601	237		237	237		237
通信運搬費	317		317						
広告料									
手数料	6		6						
保険料	278		278	237		237	237		237
13 委託料	84,859		84,859	175,693		175,693	175,693		175,693
14 使用料及び賃借料	54		54						
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金	5		5	5		5	5		5
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費	30		30						
28 繰出金									
計	220,718		220,718	242,335		242,335	242,335		242,335

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	11,500		11,500	11,842		11,842	11,842	
一般財源	209,218		209,218	230,493		230,493	230,493		230,493
計	220,718		220,718	242,335		242,335	242,335		242,335

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成24年度	当初予算	237,078千円			平成24年度財源内訳の「その他」の内訳	
	補正予算	▲10,000千円			投入手数料(し尿等) 11,413,325円	
	第1回(3月)	▲10,000	第5回		生産物売払収入(肥料) 87,000円	
	第2回		第6回		参加費等の事業実施のための収入説明	
	第3回		第7回			
	第4回		第8回			
予算合計	227,078千円					

事務事業コード	725510	事務事業名	し尿処理場管理運営事業	担当部	生活環境部
				担当課	衛生施設課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	施設を適切に管理運営することにより、環境基準が遵守されるため結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の第6条の2第1項により、し尿処理は自区域内での処理が定められているため妥当であり、民間にこのような施設はない。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	搬入されるし尿汚泥等を処理するために、施設の適切な管理運営を行うものであり、対象・意図とも適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	環境基準を遵守しながら施設の管理運営ができているため、十分に成果が出ている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	事業を廃止・休止することは、し尿、浄化槽汚泥の処理を市民が各自行わなければならないとなり、市民生活への影響が大きい。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	公害防止のため薬剤費等の使用を制限するのは難しい。また、機器の不具合箇所の修理、計画的な部品の交換等を行う必要がある。今後、経年劣化による経費増が懸念される。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	汲み取り業者の搬入時間に対応するため、業務時間の削減は難しい。運転管理については、指定管理者制度を導入している。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	下水道利用以外の全市民、事業者を対象としており、また、搬入業者に適切な基準に基づいた費用負担を求めているため、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	環境基準を遵守しながら、施設の適切な管理運営を行った。また、牧園・横川地区し尿処理場についてはH24.7.1から指定管理者制度を導入し、南部し尿処理場についてもH25.4.1から指定管理者制度の導入が決定するなど、管理運営経費の節減も図られた。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容